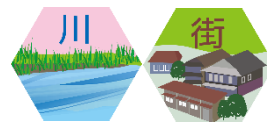


二川地区



【地区の自然環境概要】

二川地区は、川及び街の要素を持つ地区です。

小田原駅から約 1 km 北東に位置し住宅地や事業場が多い地区で、東に酒匂川・狩川、西に山王川があり、水辺環境へのアクセスが良い地区です。

大部分は市街地や住宅地を好む動植物の生育・生息の場となっていますが、東側を流れる酒匂川・狩川及びその周辺は、河川や河川敷などの水辺環境を好む動植物の生育・生息の場となっています。



【地区で見られる動植物】

市街地の中にある緑は動植物にとっての大切な生育・生息の場です。河川は水辺環境を利用する動植物の生育・生息の場となっており、水辺の草地や砂礫は希少な動植物も見られる大切に守っていききたい環境です。

- 市街地の神社・寺院では、アオダイショウやシロマダラ等の爬虫類が多く確認され¹、ツバメやスズメ、ウグイス等の鳥類やニホンヤモリ等の爬虫類など、市街地から里地里山にかけてよく見ることのできる身近な種が確認されています。²
- 東部は主に河川と草地が広がる河川環境があり、ネコヤナギやミズ、チガヤ、エビモ等の植物、カイツブリやヨシガモ、セッカ、ホオジロ等の鳥類、ニホンスッポン等の爬虫類、コヤマトンボやマツムシ、コオイムシ（絶滅危惧種）等の昆虫類などが見られ、水辺環境や草地を特徴づける種が生育・生息しています。³また、市の鳥であるコアジサシ（絶滅危惧種）などの河口に生息する希少な動物も確認されています。⁴
- 狩川の酒匂川合流部では、ボウズハゼやシマヨシノボリ等の主に河川中下流域でよく見られる魚類が生息しています。⁵

¹ 参考：平成 29 年（2017 年）～令和元年（2019 年）に実施したヒアリング調査結果

² 参考：平成 29 年度 小田原市自然環境等現況調査委託業務 文献調査結果

³ 参考：平成 30 年（2018 年）～平成 31 年（2019 年）に実施した現地調査結果

⁴ 参考：平成 29 年度 小田原市自然環境等現況調査委託業務 文献調査結果

⁵ 参考：平成 30 年（2018 年）～平成 31 年（2019 年）に実施した現地調査結果



ヨシガモ

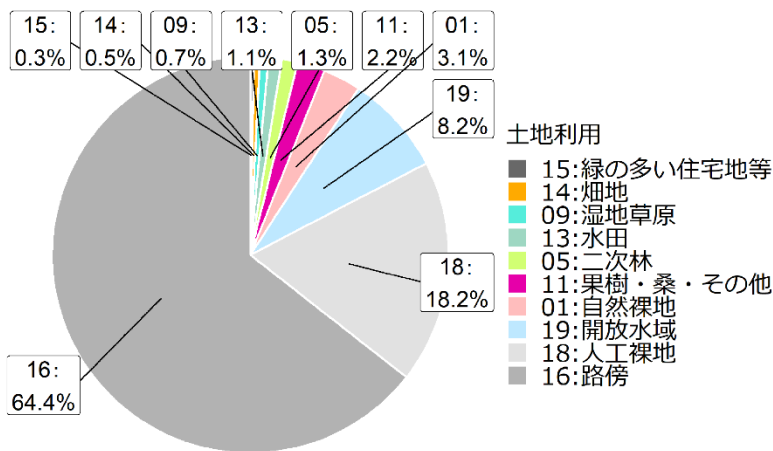


ホオジロ

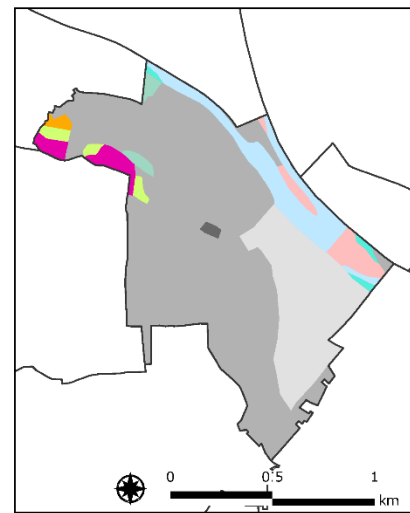


コオイムシ

- 植生図をもとに作成された土地利用を見ると、路傍及び人工裸地が約 8 割を占めますが、北西部の一部では果樹園や畑地が見られます。また、酒匂川周辺は、開放水域や自然裸地、湿地草原等が見られ、土地利用の約 1 割を占めています。⁶



二川地区の土地利用割合



二川地区の土地利用

【暮らしと自然のつながり（生態系サービス）】

自然体験・観察の場や身近にある緑など、日々の生活の中で自然環境からの恩恵を受けています。

～文化的つながり～

- **自然体験・観察の場**：「飯泉取水堰」は、酒匂川の河口から約 2.3 kmの地点に設置されており、左岸の取水口から 1 日最大 156 万 4,300 m³の原水を取水しています。この堰にはアユ等の魚類がそ上・降下できるよう魚道が設置されています。⁷
- **神社・寺院**：神社や寺院が多数あります。社寺林は、生活の身近にある緑として住環境の向上や心の安らぎに寄与します。また、一般的に神社・寺院の境内は、こどもの遊び場としても役立ってきました。

【地区で見られる特徴的な自然】

鳥獣保護区や巨樹・巨木林に選定された樹木等、大切に守り残していきたい自然環境が存在しています。

⁶ 出典：日本全国標準土地利用メッシュデータ（国立環境研究所）

⁷ 出典：事業の概要 令和元年度（特別地方公共団体 神奈川県内広域水道企業団）

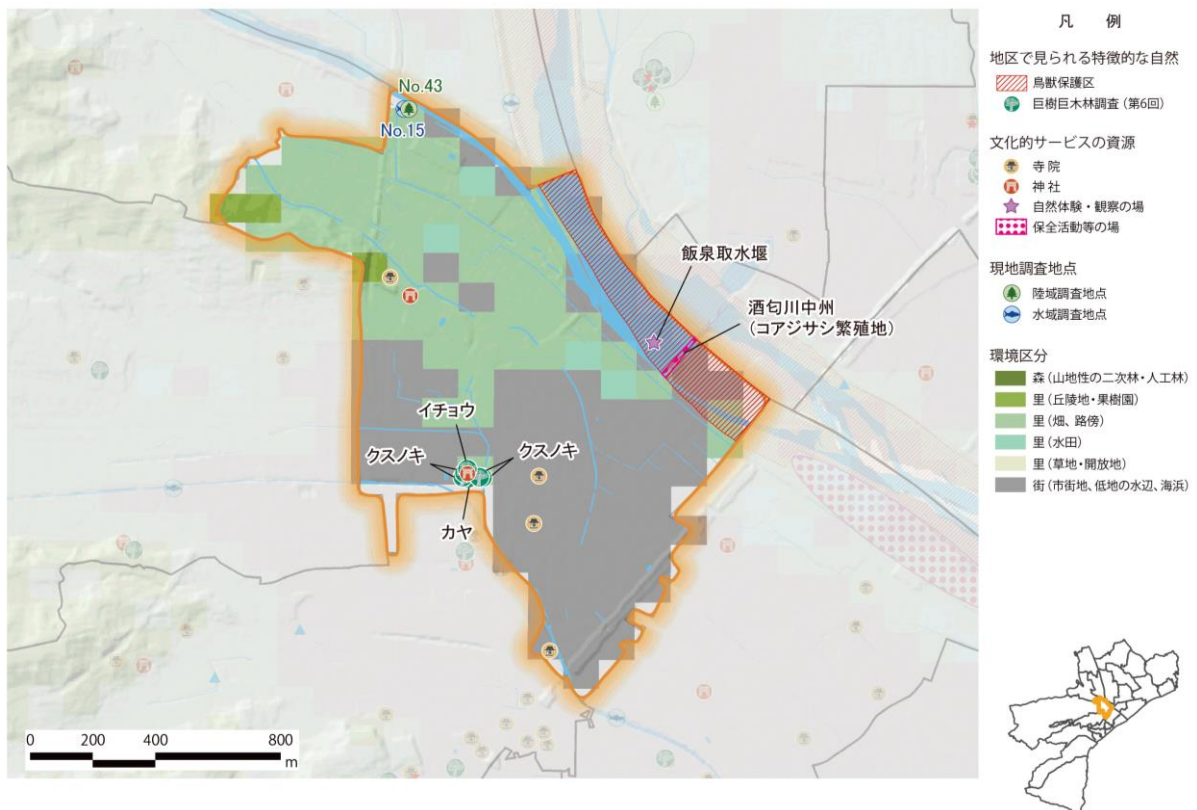
- **鳥獣保護区**：「酒匂川」は、希少鳥獣生息地（環境省レッドリストまたは神奈川県レッドデータ生物調査報告書において絶滅危惧が高いランクにある鳥獣の生息地であって、これらの鳥獣の保護上必要な地域）として、鳥獣の捕獲を禁止し、その生息環境を適切に保全しようとする区域として、神奈川県鳥獣保護区に指定されています。
- **巨樹・巨木林**：「井細田八幡神社」に生育する次表の樹木は、環境省が実施する自然環境保全基礎調査の巨樹・巨木林調査⁸で、保全すべき巨樹・巨木林に選定されています。

巨樹・巨木林概要

所在地	樹種	樹高(m)	樹幹(cm)	調査年
井細田八幡神社	クスノキ	15	310	平成12年（2000年）
	クスノキ	15	320	平成12年（2000年）
	イチヨウ	20	360	平成12年（2000年）
	クスノキ	20	380	平成12年（2000年）
	カヤ	18	340	平成12年（2000年）
	クスノキ	18	310	平成12年（2000年）

※出典：第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書（環境省自然環境局生物多様性センター、平成13年（2001年））

- **重要地点**：平成29年（2017年）～30年（2018年）に実施した自然環境調査結果の評価・分析を行ったところ、現地調査結果を踏まえ重要種が多いと評価された現地調査地点「陸域 No.42（酒匂川下流部（飯泉橋付近））」を将来に渡り守っていくべき重要地点として選定しました。



二川地区の自然環境マップ

⁸ 巨樹・巨木林調査：巨樹・巨木林は、わが国の森林・樹木の象徴的存在であり、良好な景観の形成や野生動物の生息環境、地域のシンボルとして人々の心よりどころとなるなど、保全すべき自然として重要である、として、その全国的な実態を把握することを目的に実施されている調査